

広島市植物公園 見どころ案内

カルドン

(キク科)

古代ギリシャや古代ローマから用いられており、蕾も食べることができますが、主に蒸し煮にした茎がよく食べられています。アーティチョークに似た風味があります。

リョウブ

(リョウブ科)

高さは3~6mになり、樹皮の表面が縦長な形に剥げ落ち、茶褐色で滑らかになるので「サルスベリ」と言う地方もあります。

イジュ

(ツバキ科)

奄美大島から八重山諸島に分布し、材は建築用材とされ、樹皮にはサポニンが含まれるので魚を獲るのに使われます。

ネム

(マメ科)

中央アジアから中国・朝鮮半島、本州四国九州にかけて分布し、夜になると葉が閉じることから名が付けられています。中国においては夫婦円満の象徴とされています。

ムクロジ

(ムクロジ科)

落葉高木で、西日本からインド北部まで分布し、果皮にはサポニンを含み石鹼の代わりにします。種子は数珠や羽根突きの材料とされ、寺院に植えられることが多い植物です。

ヘメロカリスの園芸品種

(ユリ科)

日本原産のユウスゲやカンゾウの仲間ですが、主に欧米で改良され、豪華で色とりどりの品種があります。一日花ですが、次々と咲きます。

サンユウカ

(キョウチクトウ科)
インド産。白花の八重が咲いています。

サポテン温室

ウチワサポテン、キンシャチ、ハナキリン、アオリュウゼツラン、ススキノキなどが咲いています。

ダシリリオン

(リュウゼツラン科)

北アメリカの乾燥地帯原産。5年ぶり、4度目の開花です。花穂がガラス天井に届いています。

夏のカラフルリーフ展

展示温室にて斑入り植物や様々な色の葉を持つ植物を紹介。7月23日まで開催しています。

アリストロキア

・ギガンテア

(ウマノスズクサ科)

パナマ産。上を見てください。茶褐色の珍奇な花形がよく目立ちます。花の裏には緑色の袋があり、昆虫が入り込むと、なかなか出られなくなり受粉を促すしくみになっています。

花ハス

(ハス(スイレン)科)

インド原産の多年生水草。スイレンとの違いは、水面より高出る葉があることです。

